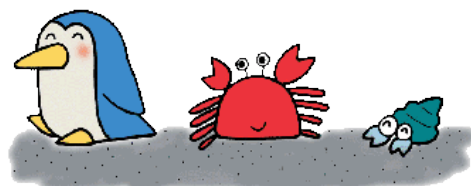


かがやきだより

令和3年8月

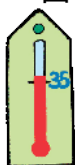


7月13日に広島県の梅雨明けが発表されました。以降はほぼ毎日30℃を越す真夏日が続いており、熱中症に注意が必要です。熱中症で亡くなる人は増加傾向で、記録的猛暑だった2018年は1,581人でしたが、それ以降も年1000人を越える高い水準で推移しており、ここ10年は亡くなる人の8割を65歳以上の高齢者が占めています。

昨年1年間に交通事故で無くなった人は2,839人。それと比較しても、年間1,000人を越える死者が出ている事実は重いものです。(右表参照)

西暦	年間死亡者数
2016年	621人
2017年	635人
2018年	1,581人
2019年	1,224人
2020年	1,433人

「熱中症による日本国内の年間死亡者数」



今年度から「熱中症警戒アラート」の運用が始まりました。これまで、最高気温がかなり高くなると予想される時は「高温注意情報」が発表されてきましたが、それとどこが違うのでしょうか？

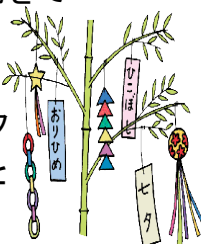
高温注意情報は予想最高気温(概ね35℃以上)に基づいて発表されるのに対し、熱中症警戒アラートは湿度を重視した「暑さ指数(WBGT)」に基づいています。この「暑さ指数」は「気温」「湿度」「輻射熱」の3要素からなり、指数28を超えると熱中症患者が著しく増加。指数31で「運動は原則中止」そして33以上の「危険」な状況が予想されると原則都道府県単位で熱中症警戒アラートが発表されます。

この夏もコロナ禍による外出自粛が続きます。そんななか、自宅で一人倒れている方が増えるかもしれません。高齢者の中には暑さを感じにくくなっている方も多いです。そのような方に声を掛け合いたいものです。

東京オリンピックが開幕し、日本は数多くのメダルを獲得しています。各家庭でテレビ観戦をする方が多いでしょうが屋内だからと油断せず、適切にクーラーを使用しこまめな水分補給を行い、熱中症予防に努めましょう。

また新型コロナウイルスの「第5波」の流行が本格化しつつあります。病床逼迫が懸念され、その他の病気や怪我、熱中症等の緊急患者の対応に影響を及ぼしかねません。お盆の帰省等で人の動きが増える時期ですが、不要不急の人の動きや対面での交流をできる範囲内で抑え、各自が基本的な対策を徹底し、感染予防に努めましょう。

さて、かがやき恒例の七夕会を7月16日に行いました。昨年同様、感染予防対策で来客者なしでしたが、今年は初の試みで交流のある落走保育園とリモート七夕会を行いました。可愛らしい園児の姿がテレビに映った時のご利用者様の大歓声と笑顔が印象的でした。皆様終始目を細め「可愛いね～」と大変喜ばれました。



令和3年8月・9月の予定

- 8月7日(土) 様誕生日会
- 9月 日時未定 敬老会
- 9月18日(土) 9:00~16:00 呉市体育館1Fサブコート周辺
「令和3年度物忘れ・介護無料相談会」作品展示



お知らせ

- 9月18日に、ご利用者様が日頃こつこつと作られた作品を展示する機会を頂きました。一日限りですが認知症に係る情報が満載です。どうぞご参加ください。
- 厳しい暑さの毎日です。引き続き新型コロナウイルス他感染症予防、食中毒、脱水・熱中症予防に留意され、お元気にお過ごし下さい。

令和3年8月6日